

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進									
高校生の食事	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり											
高校生に自分の食生活を見直してもらい、1日3食規則正しい食事の重要性を理解することを目標とした。												
食育推進計画の目標・重点プロジェクト												
三食しっかり			いっしょに楽しく		確かな目をもって			まごころに感謝		食文化や地の物		
(重点) 朝食	食生活	バランス	(重点) 共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	感謝・資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点) 協働
○	○	○										○
事業の対象者			単年度事業・継続事業									
高校生			継続事業									
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体												
埼玉県立高等学校(講義と並行して食生活調査を実施し、結果をフィードバックしている)												
取組の内容												
高校の「栄養」の授業内で講義を実施した。 家庭科の教科書の記載内容に連動しながら新しい情報を取り入れ、1日3回規則正しい食事の重要性を強調した。												
新型コロナウイルス感染症の影響												
なし												
取組の成果												
過去に対象高校の食生活調査をしており、その結果を紹介することで、より一層興味をもって聞いてもらった。												

事業名	重点目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進												
①「卵・乳・小麦を使用しない献立」についてのオンライン調理講習会 ②感染予防のための正しい手洗いの仕方についての実践研修会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標												
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり													
①アレルギーフリーの献立3品の調理講習会を開催することで、食物アレルギー対応について再認識することができる。 ②「手洗いチェッカー」を用いた正しい手洗いの仕方について再確認することができる。	食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
		三食しっかり		いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物				
		(重朝 点食)	食生活	バ ラン ス	(重共 点食)	行儀 作法	食の 安全・ 食中 毒	食品 表示	食料 備蓄	あ いさ つ	資 源・ 環 境	農 林 漁 業	行 事 食 ・ 郷 土 料 理	(重協 点働)
				○	○		○	○					○	
事業の対象者		単年度事業・継続事業												
さいたま市私立認可保育所職員(管理栄養士・栄養士 他)		継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体														
さいたま市保育課														
取組の内容														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、対面での開催を控え、初めてオンラインでの調理講習会を実施する。</li> <li>・卵、乳、小麦を使用しない3品の献立を実践を交えて紹介する。</li> <li>・手洗いチェッカーを用いて洗い残しを確認する。</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年は対面での調理講習会を開催しているが、今回は初めてオンラインでの調理講習会となった。</li> </ul>														
取組の成果														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー児のお子さんも、皆と一緒に楽しく同じメニューを食べることができる機会を設けることができた。</li> <li>・手洗いチェッカーを用いて、洗い残しのない正しい手洗いの仕方を学ぶことができた。(爪ブラシの重要性を再確認することができた。)</li> </ul>														

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
みんなの健康フェア	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
より多くの方に、健康や体力に関心をもっていただき、適切な運動習慣を持っていただくことを目標としている			
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
地域の住民(主に大人をターゲットにしている)		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
シニアサポートセンタースマイルハウス浦和、浦和区スポーツ振興会、その他地域のスポーツ団体等			
取組の内容			
<p>■目的 地域住民の健康・体力づくりへの関心を高め、運動習慣を持ってもらうためのきっかけづくり</p> <p>■実施時期: 2017年度から、年1~2回の頻度で実施してきた</p> <p>■実施体制: 当クラブが事務局となり、地域の各種団体に呼びかけ実行委員会を形成してきた。主な連携団体は次の通り。 浦和東部地区元気アップネットワーク、浦和区スポーツ振興会、(公社)埼玉県鍼灸師会、(公社)日本けん玉協会 (公社)埼玉県柔道整復師会、ケアステーションうらしん、(社福)鴻鵠の会(おたっしや倶楽部)、地域包括支援センタースマイルハウス浦和、(株)長谷エシニアホールディングス(センチュリーシティ北浦和)、彩の国リオネットセンターグループ、 訪問マッサージKEIROW、夢源訪問看護リハビリステーション、渡邊治療院・渡邊鍼灸整骨院、NPOヒューマンシップコミュニティ、MPO親子体操連盟、ディスコン連盟、領家介護を考える会、浦和駒場体育館</p> <p>■内容 ◇健康チェック 骨密度、血管年齢、体組成、腹筋、握力、脚力、柔軟性、バランス等 ◇相談コーナー 運動、栄養・食事、リハビリ、口腔、健康、介護、補聴器、年金など ◇体験コーナー 貯筋体操、JAZZ体操、歩き方教室、マッサージ体験、鍼灸体験、AED教室、ポッチャ、ディスコンスラックライン、輪投げ、スクエアステップ、ドッチビー など</p> <p>■広報 周辺自治会掲示版、回覧、他チラシ配布</p>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
2020年度には実施できなかった。2021年度も規模を縮小するとともに、直前まで開催が決定できず広報が不足した			
取組の成果			
<p>・連続して参加されて数値の変化に気を遣う方もいるなど、体力づくりへの関心を高めることに一定の効果は出ていると思われるが、定期活動として定着はしていないので、自治会等との連携をさらに進めたい</p> <p>・一緒にイベントを行うことで、地域の関係者のコミュニケーションを高めることに効果があがっている</p> <p>・元気アップネットワーク主催で継続している元気アップサロンとの連携も進み相乗効果が出ているものと思われる(参加者への呼びかけ、指導者のネットワークづくりなど多面的な効果がある)</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
シニア健康教室	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の目標			
いくつになっても自分の足で歩こう！を目標に、地域のシニア層の筋力維持・向上を目指す。			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
地域のシニア層			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
市立本太中学校、(公財)健康・体力づくり事業財団			
取組の内容			
2010年に 健康体力づくり事業財団の貯筋運動プロジェクトの試行事業に参加(期間限定の貯筋運動教室を開催)			
2011年に 厚生労働省 実践的な予防活動支援事業に企画応募し採択され、貯筋教室体験と筋力測定などの効果測定 地域のシニア層112名から体力づくりに関する意識や実践状況に関するアンケート回収結果を広報誌として広く地域に配布			
2012年 上記の活動などをもとに、地域包括支援センターやボランティア有志と地域のシニア層の健康づくりに取組む 浦和東部地域元気アップネットワークを設立 前年度教室参加者を中心に、シニア健康教室の定期開催を決定。 週1回(平日、授業時間中)、本太中学校内の施設をお借りして、地域のシニア層 10~20名が貯筋運動を中心とした健康づくり  以後、継続して実施している 現在は、余裕教室がなくなったため武道館をお借りして実施している			
新型コロナウイルス感染症の影響			
中断を余儀なくされたことで、運動習慣を無くされてしまった方も少なくなかった			
取組の成果			
・エコーを使った筋肉の厚さの測定なども行っていたが、確実に効果が上がっており、参加者からも行動改善の声が届いていた(立ち座りが楽になったとか、体重が落ちたとか)  ・いくつになっても筋力の増加が図れること、その重要性についての地域内での認識向上には寄与したと思われる(チラシ等の配布により)			

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上										
さいたま市健口教室			4 1日3食バランスのとれた食生活の推進										
事業の目標	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
高齢期の栄養・口腔機能について知り、フレイル(虚弱)予防などについて学ぶ													
食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
三食しっかり			いっしょに楽しく			確かな目をもって			まごころに感謝		食文化や地の物		
(重点) 朝食	食生活	バランス	(重点) 共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	感謝・資源・環境	農林漁業	郷土料理	行事食・	(重点) 協働
○	○	○											○
事業の対象者			単年度事業・継続事業										
さいたま市民			継続事業										
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
さいたま市、埼玉県歯科衛生士会													
取組の内容													
さいたま市、歯科衛生士会と連携し、1クール3回で実施。 介護予防のための食事・栄養についての講習													
													
新型コロナウイルス感染症の影響													
6月からの1クール目は中止 10月～12月で定員を制限して実施													
取組の成果													
市内10区で開催 316人の参加 食事の振り返りをして、健康寿命を延ばしていこうと意識してもらえるようになった。													

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進										
市民健康栄養講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得												
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
科学的な根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通じて県民の公衆衛生の向上に寄与する事業													
食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
			三食しっかり		いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物		
			(重点)	(重点)	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	感謝・資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点)
			○	○	○								
事業の対象者			単年度事業・継続事業										
さいたま市民及び埼玉県民			継続事業										
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
埼玉県栄養士会独自													
取組の内容													
<p>浦和区を中心に開催(栄養士の事務局を会場とするため)                  食事(栄養)の重要性を知ってもらいながら、身近なところで栄養相談などを気軽に聞ける場所を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養に関する講話30分</li> <li>・無料栄養相談</li> <li>・骨密度測定 など</li> </ul> <p>11月3日はケアラー月間としてハイブリッドで開催した</p>													
新型コロナウイルス感染症の影響													
コロナ禍以前は毎月開催であったが、昨年度はすべて中止、今年度は10月、11月開催。													
取組の成果													
<p>参加人数は28名                  毎月楽しみに参加されている方もいらっしゃる。                  参加者同志顔見知りとなり、コミュニケーションの場にもなっている。</p>													



事業名	重点目標	分野別の目標 1 がんの予防と早期発見の推進 2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進 4 1日3食バランスのとれた食生活の推進 6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消																																					
(1)生活習慣改善・定着プロジェクト (2)会員事業所向け健康診断等の実施 (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施	Ⅰ 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得																																						
事業の目標	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり																																						
(1)①減塩・適塩の重要性を周知する、②医療現場のニーズを汲んだ製品開発～販売を行う (2)会員事業所従業員等の健康増進に寄与する (3)働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりへの貢献を目指す	食育推進計画の目標・重点プロジェクト																																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">三食しっかり</td> <td colspan="2">いっしょに楽しく</td> <td colspan="2">確かな目をもって</td> <td colspan="2">まごころに感謝</td> <td colspan="2">食文化や地の物</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(重点)朝食</td> <td>食生活</td> <td>バランス</td> <td>(重点)共食</td> <td>行儀作法</td> <td>食の安全・食中毒</td> <td>食品表示</td> <td>食料備蓄</td> <td>あいさつ</td> <td>資源・環境</td> <td>農林漁業</td> <td>郷土料理</td> <td>(重点)協働</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	三食しっかり			いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物			(重点)朝食	食生活	バランス	(重点)共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点)協働		○	○										○
三食しっかり			いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物																														
(重点)朝食	食生活	バランス	(重点)共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点)協働																											
	○	○										○																											
事業の対象者	単年度事業・継続事業																																						
市民、会員事業所および従業員	継続事業																																						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体																																							
(1)さいたま市保健福祉局、(一社)適塩・血圧対策推進協会、協定締結先の大学、会員事業所等 (2)浦和医師会、大宮シテイクリニック、レインボークリニック、川口総合病院 (3)大阪商工会議所																																							
取組の内容																																							
<p>(1)生活習慣改善・定着プロジェクト</p> <p>①「ナト・カリ調味料」を使用した共同商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員事業所2店舗と人間総合科学大学の共同により、ナト・カリ調味料を使用した商品等を開発、期間限定で販売した。普及のため、3月の2日間、まるまるひがしにほんでの販売も行った</li> <li>・今夏から4店舗が同大学と共同商品開発を行っている。今冬の販売を目指している</li> <li>・「1日8,000歩、塩分摂取8g」を普及啓発する筆記具を配布している(写真右)</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内ものづくり企業と大学の医療系学部との製品開発支援を行っている</li> </ul> <p>(2)会員事業所向け健康診断等の実施</p> <p>①一般定期健康診断、生活習慣病検診、人間ドック、PET検診を当会議所指定機関で受診できる</p> <p>②労働安全衛生法に対応したストレスチェック実施を当会議所がサポートしている</p> <p>(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施</p> <p>①毎年度、3月と11月に試験を実施している。あわせて試験に向けた対策講座を実施している</p>																																							
新型コロナウイルス感染症の影響																																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の打合せについて、必要に応じオンライン化へ移行している</li> <li>・集合型の事業について、従来より大きめの会場確保や定員縮小を行っている</li> </ul>																																							
取組の成果																																							
<p>(1)生活習慣改善・定着プロジェクト</p> <p>①商品開発について、日経新聞(3/17)に記事として取り上げられた</p> <p>②製品開発について、上市した案件が出ている</p> <p>(2)会員向け健康診断等の実施 (①の数値は2年度事業のもの、カッコ内は元年度との比較)</p> <p>①健康診断は267事業所(▲21事業所)、1,528名(▲21名)が受診した</p> <p>②ストレスチェックは年度目標約100名を上回る申込がある</p> <p>(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施(カッコ内は元年度との比較)</p> <p>①3月の申込者数は1,381名(感染症で中止)、11月は1,597名(+183名)であった</p>																																							



事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進			
協会けんぽの集団健診 ～特定健診と合わせたがん検診、歯科健診、特定 保健指導の実施～	I 若い世代から、健康づくりを 意識した生活ス タイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療 の推進			
事業の目標	II 地域の環 境や社会資源 を活用した健康 づくり		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上			
特定健診(集団健診)と合わせてがん検診や歯科 健診、保健指導を実施することで、加入者の利便 性の向上および各種健(検)診の実施率の向上を 図る。						
事業の対象者	単年度事業・継続事業					
協会けんぽ加入の40歳以上の被扶養者	継続事業					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
・埼玉県 ・埼玉県医師会、郡市医師会 ・埼玉県歯科医師会 ・埼玉県内市町村 ・健診実施機関						
取組の内容						
<p>■事前調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県と連携し、特定健診とがん検診の連携に協力的な市町村に対し事業説明を行った。併せて、埼玉県医師会、郡市医師会への協力依頼を行った。</li> <li>・埼玉県歯科医師会と連携し、一部の集団健診会場で歯科健診を合わせて実施するため、事業調整を行った。</li> </ul> <p>■実施内容・実績</p>						
令和3年1月～12月 集団健診事業	特定健診とがん検診	特定健診と歯科健診	(参考)特定健診のみ			
実施期間	令和3年1月～8月 15日間(9市町村)	令和3年1月～3月 5日間	令和3年1月～3月 105日間			
内容	・特定健診 ・がん検診 会場によって異なる (胃がん、肺がん、大腸 がん、乳がん、子宮頸がん、 前立腺がん)	・特定健診 ・歯科健診	・特定健診			
健診実績	特定1,281人 がん(*参考参照)	特定591人 歯科118人	特定11,392人			
特定保健指導 分割面談者数	11人 1日1市のみ実施	34人 4日間	1,127人 105日間			
参考(令和2年度 8市町14日実績)						
	肺がん	胃がん	大腸がん	前立腺がん	乳がん	子宮頸がん
受診者数	398人	322人	506人	17人	452人	374人
実施市町数	4市町	5市町	5市町	4市町	4市町	4市町
新型コロナウイルス感染症の影響						
令和2年度集団健診事業は、感染予防対策を徹底することで、中止になった会場は無かったものの、日程や施設の変更があった。						
取組の成果						
平成30年度より継続して実施している事業であり、がん検診や歯科健診が同時に受診できる会場は早期に定員となることが多い。令和元年度集団健診会場におけるアンケート結果では54.8%(2,259人/4,668人)の方ががん検診と同時に受診したいと回答している。このため、がん検診同時実施市町村の拡大や歯科健診会場の拡大を図っていくことが必要と考えている。 また、特定保健指導(初回分割)を実施したことで、保健指導実施率が向上した。						



<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">分野別の目標</p>
<p>(I)第9回薬物乱用防止キャンペーン (II)第10回市民公開講座</p>	<p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	
<p>事業の目標</p> <p>健康に関するさまざまな情報を整理して正しい知識を持って頂くこと。</p>	<p>II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり</p>	
<p>事業の対象者</p>		<p>単年度事業・継続事業</p>
<p>一般市民・応募市民</p>		<p>継続事業</p>
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>さいたま市保健福祉局・埼玉県警</p>		
<p>取組の内容</p>		
<p>(I)第9回薬物乱用防止キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:令和3年3月21日(日)</li> <li>・場所:浦和駅東口駅前市民広場</li> <li>・内容:薬物乱用防止啓発チラシ・ポケットティッシュ・抗菌ウェットシートパッケージ配布(4,000個) 薬剤師会・県警本部・市保健福祉局 計150名参加</li> </ul> <p>(II)第10回市民公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:令和3年7月11日(日)</li> <li>・場所:ロイヤルパインズホテル</li> <li>・内容:「便秘の悩み・疑問にズバリ回答」 自治医科大学附属病院 味村俊樹先生</li> </ul>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>夏の薬物乱用防止キャンペーン・各区民まつり中止</p>		
<p>取組の成果</p>		
<p>(I)市民の方に乱用防止の正しい知識・恐ろしさを知っていただけたと思います。</p> <p>(II)市民公開講座当日108名の市民の方が熱心にご聴講いただきました。 身近な便秘ということで多数の質問があり講師の味村先生の答えに皆様満足されていました。</p>		

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
・母子の健康と育児に関する事業(子育て支援事業) ・高齢社会に対する声掛け・見守り事業 ・さいたま市への保健事業協力	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		7 受動喫煙の防止と禁煙
スローガン 1. 愛の一声、健康づくりを広めましょう 2. 健やかな子を育て、明るい家庭づくりを広めましょう 3. 住みよいふるさと、長寿社会づくりを広めましょう			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
各区の母子・高齢者・地域住民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
保健所・各区保健センター・社会福祉協議会・自治協力会			
取組の内容			
<p>地域の母子保健と高齢者福祉の向上、地域住民の健康推進活動を目的に、4区4地区で活動している。</p> <p>全体研修 1. 実技講習会「コロナに負けないカラダづくり」指導 小島 真理子氏 誰でもできる、椅子に座ってのストレッチによる動きやすい体作り</p> <p>地区自主事業 ・子育て支援事業 三世代交流 訪問活動 赤ちゃんの健全な発育のための検診の推奨と親子の孤立防止等の子育て支援教室の開催 ・高齢者や独り暮らしのかたへの支援 声掛け ふれあい会食 介護予防体操 健康体操 おしゃべりサロン</p> <p>・結核予防パンフレットの配布</p> <p>・禁煙の推奨 周辺での喫煙に対し、身体への悪影響などを説明して、禁煙協力を呼び掛ける。</p> <p>行政協力・協働事業 ・各区の保健事業への協力 育児相談 ふたごの集い 親子教室 育児学級 生活習慣病予防教室</p>			
<p><b>新型コロナウイルス感染症の影響</b></p> <p>各区役所が主体的に例年実施していた行事・イベント等の殆どが中止となってしまった。 公民館等の利用制限により、規模の縮小を余儀なくされたり、企画しても開催できない状態が見られた。</p>			
取組の成果			
<p>子育て支援について、親子支援活動や三世代交流事業を行うことで、孤立しがちな子育ての中で、母親や父親が悩みを解決できたり、地域との繋がりのきっかけになる十分な成果は得られなかった。 健康づくりについては、各地区の課題を少しでも解消しているよう、班員たちが研修等で学んだ知識を活用しての取り組みが難しかった。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進										
1. 10区合同研修会 2. リーダー研修会 3. グループ伝達講習会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進										
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
地域における食育推進の担い手として、健全な食生活を実践伝達を実施する食育活動を進めて行く。													
食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
三食しっかり			いっしょに楽しく		確かな目をもって			まごころに感謝		食文化や地の物			
(重点) 朝食	食生活	バランス	(重点) 共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ・感謝	資源・環境	農林漁業	郷土料理	行事食・	(重点) 協働
○	○	○			○				○	○	○		○
事業の対象者						単年度事業・継続事業							
会員						継続事業							
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
さいたま市保健所地域保健支援課、さいたま市10区区役所保健センター、さいたま市10区内公民館、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課													
取組の内容													
<p>昨年同様、講義とレシピ説明、コロナ禍事業中止も数回ありました。</p> <p>地域住民に対して生涯を通じた食育推進し健康づくりの発信者として健全な食生活を実践できるよう、バランスガイドの普及と啓発、地産地消、郷土料理や行事食、生活習慣病予防の食事等研修、また、SDGs啓蒙の中、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課職員の食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢の講義を受講しました。</p> <p>多岐にわたり食育について学ぶ事が出来ました。</p>													
新型コロナウイルス感染症の影響													
緊急事態宣言時は中止、まん延防止重点措置時は講義のみで、人数・時間の厳格な制限に従って2部制にて事業を行いました。													
取組の成果													
感染防止対策として、参加者の健康チェック(参加前・受付時検温)、ソーシャルディスタンスを保った席配置の工夫、1人1テーブル指定席、入室退室別のドアで一方通行にするなど創意工夫も回ごとの会場設定がスムーズに出来るようになった。また、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課講義食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢は会・個人個人として食品ロス削減に取り組む意識をより深める事ができた。													

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
2021年度さいたま市成人保健事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
各種がん検診・特定健診を通して、疾病の早期発見と治療開始に努め、メタボリックシンドローム該当者に対して特定保健指導を実施し、疾病の重症化予防を推進するとともに、市民公開講座の開催により、疾患への理解を深め、発症予防の重要性を理解する			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市4医師会、さいたま市国民健康保険課、年金医療課、さいたま市保健所地域保健支援課			
取組の内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性のヘルスチェック(2022年3月31日時点で18歳～39歳の女性)</li> <li>2. 前立腺がん検診(2022年3月31日時点で50歳～80歳の男性。前年度未受診の方)</li> <li>3. 肝炎ウイルス検診(2022年3月31日時点で40歳以上で、前年度以前に検診を受けたことのない方)</li> <li>4. 骨粗しょう症健診(2022年3月31日時点で40歳、45歳及び50歳～80歳の女性で、50歳以上は前年度未受診の方)</li> <li>5. 胃がん検診(2022年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>6. 大腸がん検診(2022年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>7. 肺がん・結核検診(2022年3月31日時点で40歳以上の方)</li> <li>8. 乳がん検診(2022年3月31日時点で40歳以上の女性で前年度未受診の方)</li> <li>9. 子宮がん検診(2022年3月31日時点で20歳以上の女性、40歳以上は前年度未受診の方、子宮体がん検診は40歳以上の方)</li> <li>10. 特定健診             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)さいたま市国保特定健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で2022年3月末現在で40歳～74歳の方)</li> <li>2)後期高齢者健診(さいたま市在住で75歳以上の者および心身障害者で65～74歳で後期高齢者医療制度に加入している方)</li> <li>3)さいたま市国保健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で2022年3月末現在で35歳～39歳の男性)</li> </ol> </li> <li>11. 特定保健指導(動機付け支援) メタボリックシンドローム該当者 健診結果説明時に実施。</li> <li>12. 生活習慣病重症化予防プログラム</li> </ol>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
新型コロナウイルス感染症の拡大により、健診(検診)受診率の低下があり、がん発見の遅れ、生活習慣病の悪化につながる危険がある			
取組の成果			
生活習慣病重症化予防プログラムの普及により、糖尿病未受診者・受診中断者に対し、受診勧奨することにより積極的な受診に繋がりと、早期介入が可能となった。また、保健指導の実施により腎機能低下速度の遅延につながった。心不全に関する市民公開講座の開催により、心不全に対する理解がすすみ、健康意識を得ることにつながった。			

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
健口づくり交流会			
事業の目標			
高齢者のお口の健康に興味をもってもらうこと	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
健口教室の参加者	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
(公社)埼玉県歯科衛生士会、(公社)埼玉県栄養士会			
取組の内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●お口の健康体操などを実際に行い、覚えて帰り自宅でも行うよう指導</li> <li>●お口の健康について歯科医師の講話、栄養について栄養士の講話</li> <li>●車座になりグループミーティングを行い、お口についての悩み、疑問等を皆で話し合う。</li> </ul>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
今年度第1回は中止			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●お口の健康について興味をもっていただけた。</li> <li>●皆で話し合うことにより他者とのコミュニケーションをとることも広義のフレイル予防となる。</li> </ul>			

事業名	重点目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
口腔機能向上フォローアップ教室		分野別の目標
事業の目標		
高齢者の飲み込み等お口の機能の健康維持を目的としている	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
事業の対象者		単年度事業・継続事業
健口教室の参加者		継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
(公社)埼玉県歯科衛生士会		
取組の内容		
<p>2回の実施を1セットとしている。</p> <p>1回目: 歯科医師によるアセスメント、飲み込み、お口の感想等の機能検査を行う。その後パタカラ発話や口腔体操、唾液腺マッサージ等を練習し、覚えて帰っていただき、2回目まで継続するように指導する。</p> <p>2回目: 1回目と同じ検査を行い、効果を確認する。(パタカラなどは機能が向上している方が多くみられる)</p>		
新型コロナウイルス感染症の影響		
小人数の定員制とした		
取組の成果		
お口の機能が衰えることを理解していただき、努力によって健康が維持できることを認識していただける。		